

ニュープラくん[®]

雨水貯留槽

土に返る 自然に帰る 水が還る



土に戻る 自然に帰る 水が還る

ニュープラくんは、安心・安全な製品を目指して開発した雨水貯留槽です。

台風やゲリラ豪雨、線状降水帯による冠水被害対策、開発が進むことにより発生する都市型洪水対策として、高い能力により、雨水被害に対する効果を発揮します。

ニュープラくんの特徴

大きな空隙率

組立後の実質空隙率 95% 以上を確保。

高い強度

T-25 活荷重に対応。駐車場下設置可能。

施工性

主要部材の組立だけで完成。(少パーツ)

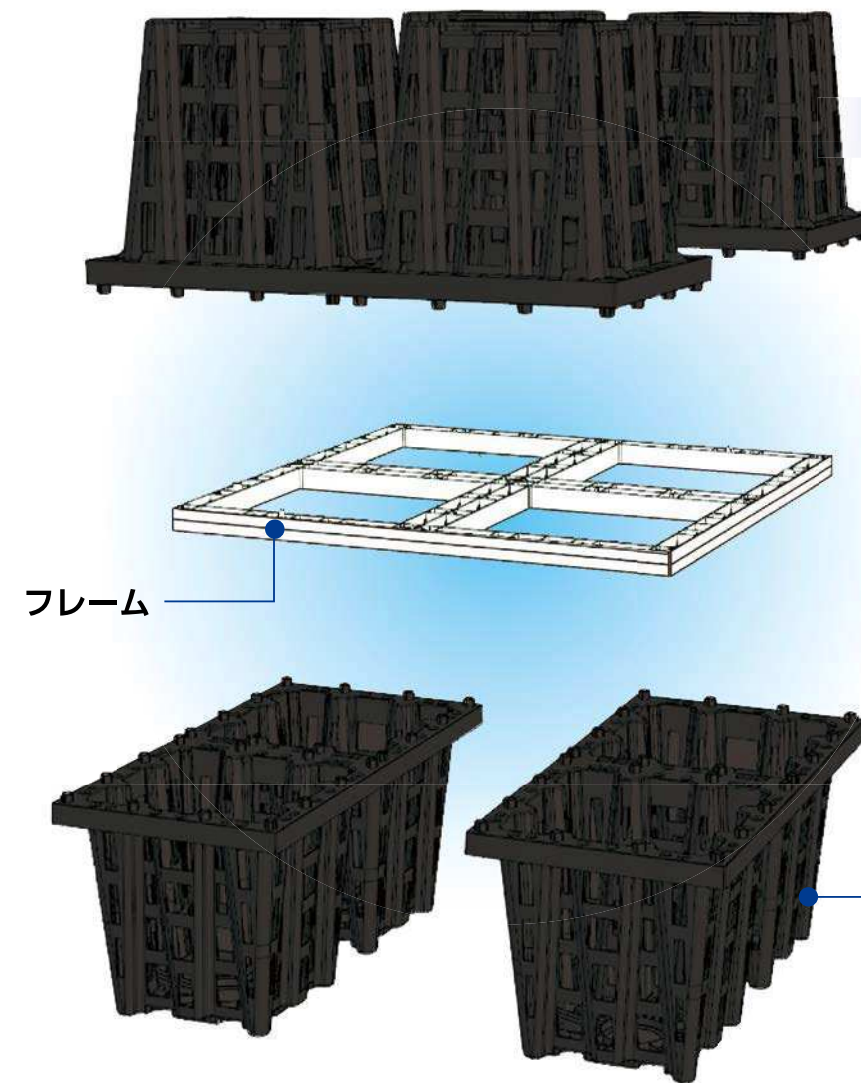
技術評価認定を取得

(公社) 雨水貯留浸透技術協会より技術評価認定を取得

- 雨水の流出抑制及び雨水利用施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- 実用上必要な強度、耐クリープ性を有すると認められる。
- レベル 2 に相当する地震動において必要な耐震性能を有していると認められる。
- 軽量であり運搬、施工が容易であると認められる。
- 施設の維持管理が容易であると認められる。
- 環境への負荷が少ないものと認められる。



ニュープラくんイメージ図



ニュープラくんの構成部材

- 本体ブロック / F 型 (凹) と M 型 (凸) の 2 種類があります。大きな空隙を確保する貯留槽の構成と、鉛直方向の荷重に対する強度を保有しています。
- フレーム / 本体ブロックのジョイント部材として使用します。高強度の原料 樹脂を採用しており、水平方向に対して十分な強度を保有しています。
- 天板 / 上面、天端部を平面にするために使用します。

ニュープラくん本体

※実際の製品の色は、図と異なる場合があります。

ニュープラくんの適用範囲

段数	h：施設高 (m)	最大埋設深度 (m)	土被り (m) (上載荷重 T-25 対応の場合)	槽幅の適用範囲 (m)
1 段	0.35	2.35	0.50 ~ 2.00	150.5
2 段	0.67	2.67	0.50 ~ 2.00	150.5
3 段	1.02	3.02	0.50 ~ 2.00	150.5
4 段	1.34	3.34	0.50 ~ 2.00	150.5
5 段	1.69	3.69	0.50 ~ 2.00	150.5
6 段	2.01	3.99	0.50 ~ 1.98	150.5
7 段	2.36	3.99	0.50 ~ 1.63	150.5
8 段	2.68	3.99	0.50 ~ 1.31	150.5
9 段	3.03	3.99	0.50 ~ 0.96	150.5
10 段	3.35	3.99	0.50 / 0.50 超 ~ 0.64	150.5 / 73.5

施設幅と施設長さは、0.7m 単位となります。
奇数段：最下段はフレームより設置 偶数段：最下段は本体 F 型より設置

強度試験の様子



鉛直方向圧縮試験



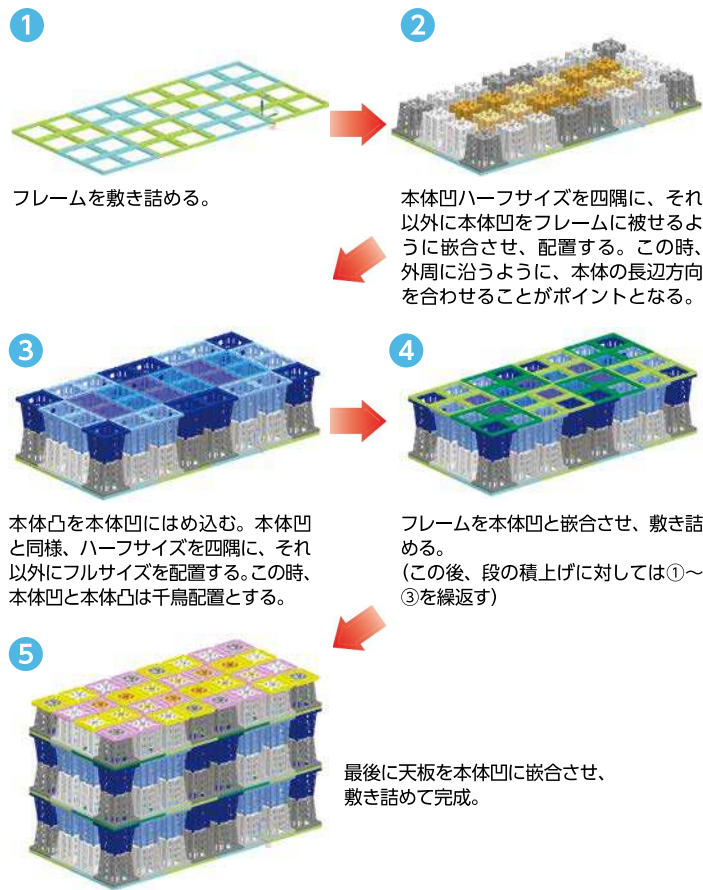
水平方向長期クリープ試験



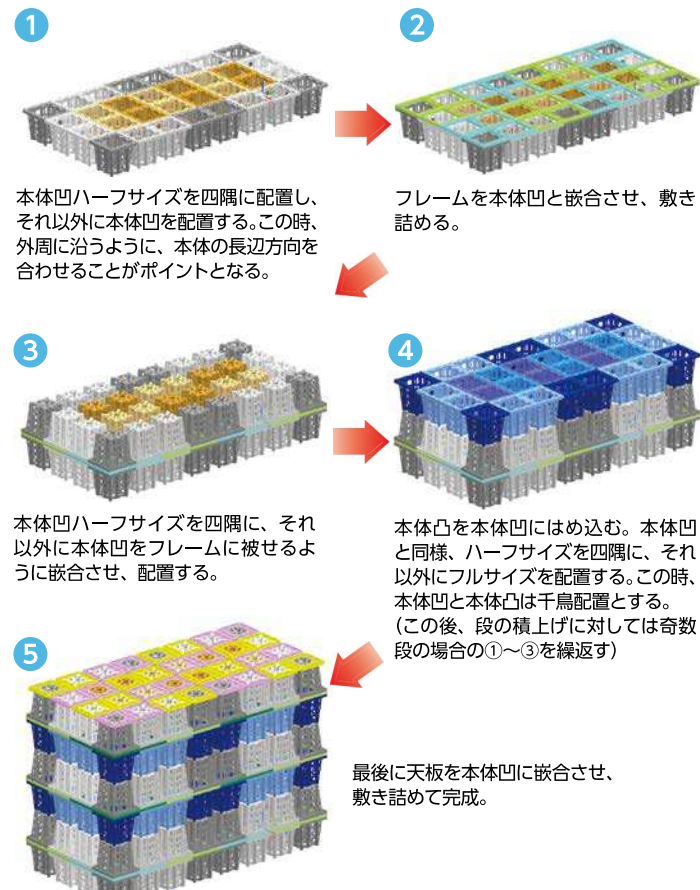
正負交番載荷試験

ニュープラくんの組立図

奇数段の場合（フレームを最下層に設置する場合）



偶数段の場合（本体凹を最下層に設置する場合）



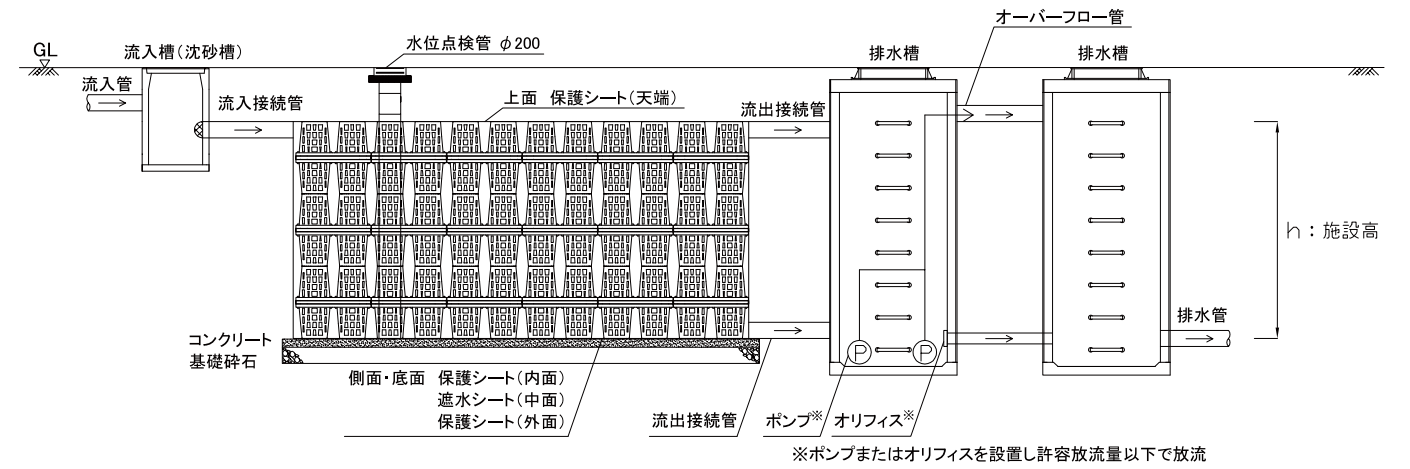
ニュープラくんの構成部材

部材名	ニュープラくん本体 M型(凸)	ニュープラくん本体 F型(凹)	ニュープラくん本体 M型(凸)ハーフ	ニュープラくん本体 F型(凹)ハーフ
形状				
寸法	W 347mm	W 347mm	W 347mm	W 347mm
	L 697mm	L 697mm	L 348.5mm	L 348.5mm
	H 320mm	H 320mm	H 320mm	H 320mm
質量	2.6 ~ 3.1kg	2.5 ~ 3.0kg	1.3 ~ 1.6kg	1.3 ~ 1.5kg
部材名	フレーム	天板(Aタイプ)	天板(Bタイプ・十字型)	天板(Bタイプ・端型)
形状				
寸法	W 700mm	W 347mm	W 345mm	W 114mm
	L 697mm	L 697mm	L 345mm	L 198mm
	H 320mm	H 20mm	H 20mm	H 20mm
質量	1.4kg	0.6kg	0.3kg	0.07kg

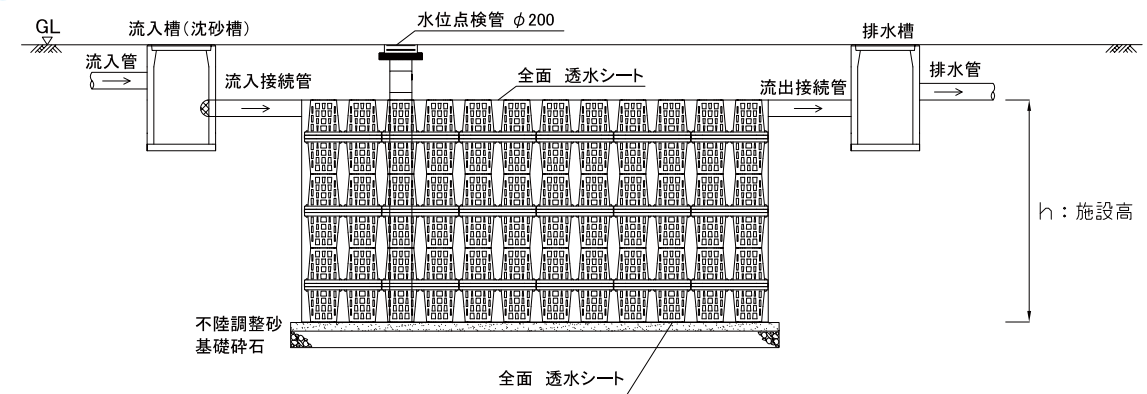
上記物性は標準物性であり保証値ではありません

ニュープラくんの構造図

貯留施設として設置する場合



浸透施設として設置する場合



ニュープラくん附带施設



接続用支管



沈砂槽



コンクリート製点検管理樹



槽内点検カメラ & クリーンロボ



水位点検管



清掃溝

透水シートの敷設（底面）



貯留構造体の組立①（本体）



貯留構造体の組立③（天板）



透水シートの敷設（側面）



接続管の設置



本体の荷下ろし



貯留構造体の組立②（フレーム）



貯留構造体組立後全景



透水シートの敷設（上面）



透水シートの敷設後全景



某ドラッグストア（関東地方）



施行中の様子



舗装後の状況

某ホームセンター（関東地方）



某戸建住宅（関東地方）



某工場（東北地方）



某老人介護施設（関東地方）



禁止・注意事項

- 「プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針(案)」に準拠の上、施設の計画、設計、施工を行って下さい。
- 設計にあたり、T-25 対応とは、「駐車場設計・施工指針 同解説」による活荷重に対する計算結果です。駐車場の利用形態によってはこれによらないため、別途検討する必要があります。
- 設計・施工にあたり、製品の適用範囲を遵守して下さい。
- 施工にあたり、関連法規・条例等を遵守して下さい。
- 想定重量以上の重機の乗入れ、および盛土や建設資材の仮置き等は避けて下さい。アウトリガーを張り出してのクレーン作業は、原則、禁止といたします。
- 製品は可燃物のため、火気の使用には十分注意して下さい。
- 完成後、貯留槽上部にてたき火や有機溶剤、化学薬品、鉱油等の使用は避けて下さい。



URL : <http://www.titibu.co.jp/>

(公社)雨水貯留浸透技術協会会員



秩父ケミカル株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-2-3

TEL. 03-3832-1617 FAX. 03-3832-1681

お問合せは…